

家庭教育支援だより

〈家庭教育サポート企業の取組〉 空知管内発



みんなの工場 HP

子どもたちに感動体験を提供～株式会社シロ(砂川市・平成 23 年度締結)～

2023年、砂川市の小学校跡地にオープンした「みんなの工場」は、「世界中から人が集まり、誰もが感動体験を持ち帰ることのできる場所」を目指して、子どもたちがものづくり・学び・観光をテーマに様々な体験活動を行うことができる施設で、工場内には、子どもたちの自由な遊び場やジャングルネット、小さな図書館などが整備されています。

今年4月からは、子どものおしごと体験プログラム「みんなのおしごと」もスタートしました。子どもたちが、施設内での作業や清掃など、実際にスタッフが行なっている運営の仕事の一部を体験することができ、参加した子どもたちからは、「工場に来てくれた人に喜んでもらえる体験ができ、うれしかったです」、「将来のお仕事につながる体験ができました」などの声が聞かれるなど大好評です。

この他、砂川の在来種を守り育てる「種ワークショップ」では、苗を種から拾い育てる活動を行うなど、空知の自然や農業に関わる体験も豊富に提供しています。



「子どものおしごと体験」の紹介写真

〈コミスクPLUS(恵庭市教育委員会・認定 NPO 法人まちづくりスポット恵み野)の取組〉 石狩管内発

「コミスクかふえ」の開催!!

恵庭市内のすべての小・中学校は、令和3年度でコミュニティ・スクールとなりました。「地域と学校の連携・協働」を充実させるためには、多様な人・組織・団体が相互理解を深め、信頼関係をつくるのが大切です。そのため、地域や学校にかかわる様々な人たちが気軽に集い、学び、相談し合える場を目指した「コミスクかふえ」を、令和4年度より定期的に開催しています。

「コミスクかふえ」の内容

- ① 多様な講師による講義・講話
- ② 市内小・中学校のコミュニティ・スクールにおける実践の交流
- ③ 参加者による対話の実践（グループトーク）

地域総がかりで子どもたちを育てることにより、「学び場」や「つながり合う場」を整え、学校・保護者・地域住民がつながるきっかけづくりを進め、地域の活性化を図ります。

また、アンケートによる参加者のニーズの把握も行い、子どもや学校、地域が抱える課題に共に向き合う場づくりを目指しています。

学校と地域が連携・協働して、未来を担う子どもたちの育成を図る必要があります。地域に住む全ての大人が、自分ごととして、子どもたちの未来を考えていきましょう。
(石狩教育局社会教育指導班)



恵庭市の学校・地域をつなぐ
～コミスクかふえ! HP



会場やグループワークの様子

《地域の家庭教育支援等に資する取組》 後志管内発

「ありのまま」で過ごせる場所の提供

～くっちゃん子ども子育て応援し隊 Popke Lab(ポッケラボ)～

くっちゃん子ども子育て応援し隊 Popke Lab(以下 ポッケラボ)は、令和元年10月に倶知安町に住むママさんが立ち上げた子育てボランティア団体で、倶知安町の家庭教育支援チームとして、子育て中の親を支える様々な活動を展開しています。また、令和4年度には、家庭教育サポート企業として道教委と協定を締結しています。



大人と高校生が食事を提供



モルックで遊ぶ子ども達

ポッケラボでは、発足から現在に至るまで続けられている「子育てサロン」や親子での遊びやイベント活動に加えて、今年度から地域でこどものココロとカラダを応援する「ココカラ」をスタートしました。

「ココカラ」は、月6回(毎週木・金曜日)、15時～18時に町内の北地域会館で親子や小・中・高校生を対象として、「遊び」「体験」「食事」を提供し、世代の違う人と話したり、遊んだり、自由に過ごすことのできる多世代の居場所です。

「ありのまま」で過ごせる場所があることで、子ども達は、「大人になる楽しみ」や「何が必要か」を発見することができ、大人にとっても「子育て」を地域全体で見守ることができる拠点として活動を続けています。



ポッケラボ公式ブログ

児童福祉法や母子保健法などの関係法が一部改正されました！（令和6年4月1日施行）

児童虐待の相談対応件数の増加（令和2年度の児童相談所への相談件数20万件超）や、児童虐待による事件・事故が後を絶たず、子育てに困難を抱える家庭が顕在化し、子どもや保護者、家庭を取り巻く環境は厳しいものがあります。そのため、子育て世帯に対する包括的な支援の体制強化のため、関係法が改正されました。

《改正の概要》 出典：厚生労働省 HP より一部抜粋

1. 子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業の拡充

②子どもの居場所づくり支援、親子関係の形成支援等を行う事業等の実施（新設）

- 児童育成支援拠点事業・・・(例) 児童の居場所となる拠点を開設し、児童や保護者へ生活リズムの調整、学習支援等を行う
- 親子関係形成支援事業・・・(例) 親子間の適切な関係性の構築を目的とし、講義・グループワーク等で子どもとの関わり方を学ぶ機会づくりをする など



ほっかいどう 企業・団体・個人の皆様と行政を結ぶネットワーク

応援団会議

「ほっかいどう応援団会議」に参加してください！

企業・団体や個人の皆様と一緒に北海道を盛り上げるための官民連携ネットワークです。盛り上げるための応援手法は様々、まずは「応援団会議」へのご参加をお願いします。参加費年会費なし、企業規模などの条件もありません！

(お問合せ：北海道総合政策部官民連携推進局〈詳しくは「ほっかいどう応援団会議」で検索🔍〉)

【発行元】北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

電話：011-204-5994

メール：koyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

HP：<https://manabi.pref.hokkaido.jp/wa/dokyoi/sgg/support/>

